令和6年度第5回坂井市子ども・子育て会議 議事概要

日時	令和7年2月19日（水） 午後7時01分～8時39分
場所	坂井市役所本庁舎 多目棟3階大ホール
出席者	委員11名：石川会長、武田副会長、伊藤委員、白崎委員、岡崎委員、栃倉委員、長谷川(た)委員、白石委員、植野委員、八杉委員、榊井委員 事務局8名：森瀬部長、半田次長、浦課長、小川参事、北岡参事、矢尾参事、井上課長補佐、細川課長補佐
欠席者	委員4名：長谷川(晃)委員、畑山委員、森委員、盛岡委員、
議題	(1) 坂井市こども計画（案）について ① パブリックコメント等の意見内容および対応 …【資料1-1、1-2】 ② 坂井市こども計画（案） …【資料2】 ③ 坂井市こども計画概要版（案） …【参考1-1、1-2】 (2) 私立幼稚園の新制度移行に係る事前協議について ① 私立緑幼稚園の新制度移行 …【資料3】 (3) 令和7年度教育・保育事業および放課後児童クラブ事業の申込状況等について ① 教育・保育事業 …【資料4】 ② 放課後児童クラブ事業 …【資料5】
その他	(1) 今後の日程 (2) 会議を振り返って
資料	(当日配布) 坂井市子ども・子育て会議委員名簿 【議題】 資料1-1 市民パブリックコメント意見・対応一覧 資料1-2 市議会意見・対応一覧 資料2 坂井市こども計画（案） 参考1-1 坂井市こども計画概要版 一般用（案）（※） 参考1-2 坂井市こども計画概要版 こども用（案）（※） 資料3 私立緑幼稚園の新制度移行 資料4 令和7年度保育園等入園児童予定数 資料5 令和7年度放課後児童クラブ登録児童数

(※) 確定情報でないため公開していません。

1. 開 会

2. 会長あいさつ

【会長】

<出席人数等の報告>

【会長】

出席委員数の確認。11名出席、4名欠席。過半数以上の出席のため会議を開催。傍聴人1名。

3. 議題

(1) 坂井市こども計画（案）について

- ① パブリックコメント等の意見内容および対応
- ② 坂井市こども計画（案）
- ③ 坂井市こども計画概要版（案）

【事務局より説明（資料1-1、1-2、資料2、参考1-1、1-2）】

【会長】

事務局からの説明について、委員の皆様からご質問・ご意見をいただきたい。

【会長】

計画（案）の125ページ「進捗を計る主な指標」について、数値目標を定めるのはなかなか難しいことだが、例えば、No.06の「産後ケア事業利用率」は、4.6%から40%ということで桁が違っている。利用を高めていくための施策が伴わないといけないと思うが、そのあたりの見通しはいかがか。

【事務局】

国の事業の目的が色々変わってきている。令和5年度の途中からは、例えば、母乳の相談とか育児のサポートを希望するかなど、なるべく全て利用できるようになっていく。

また、本市では、本年度から産後ケア利用券を出生届出時にお渡ししており、利用率が非常に上がっている。来年度以降も利用が増えていくと思いき、11年度の目標を40%まで上げているところである。

【会長】

利用率が増えてくるということは、それに対応するスタッフ・職員の皆さんの負担も大きくなると思うが、そのあたりの手当では大丈夫か。

【事務局】

県内の産科医療機関と助産師会等と協力体制を取っており、調整を図りながら、今のところはほとんど、利用希望に応じて対応できている状況である。

【会長】

No.13の「イクボス宣言企業」の男性の育児休暇取得率については、先日、県の会議でも話題になったところで、定義が分かりづらいところがある。県は80%としたが坂井市は85%でかなり大きい。何日間をもって休暇の取得とみなすのかといった統一的な基準みたいなものを設けておくほうが良いのではないか。回答は結構なので、これから検討していただきたい。

【会長】

今回、何個か新しい事業が付け加えられた。合計327事業ということで、各担当課にも大変ご苦勞をいただいた。1つ目の議題としては、委員の皆様のご理解をいただいたということで、ここまでとさせていただきます。

3. 議題

(2) 私立幼稚園の新制度移行に係る事前協議について

① 私立緑幼稚園の新制度移行

【事務局より説明（資料3）】

【会長】

今ほどの説明について、ご質問・ご意見をいただきたい。

【委員】

緑幼稚園の所管は教育委員会ではなく、今は保育課がしているということか。

【事務局】

はい。保育課が担当している。

【会長】

施設型給付に入る幼稚園としての認可というのは、市なのか県なのか。

【事務局】

県である。

【会長】

それならば、我々が良いとか悪いとか言えないところもあるので、協議書が出てきて、これを我々が、情報を共有したということによろしいか。

【事務局】

はい。そのようにお願いしたい。

【会長】

坂井市長あてに事前協議書が出され、今日、委員の皆様にご覧いただいて、この会議としては理解をしたということにしたい。2つ目の議題については、委員の皆様のご理解をいただいたということにさせていただく。

3. 議題

(3) 令和7年度教育・保育事業および放課後児童クラブ事業の申込状況等について

- ① 教育・保育事業
- ② 放課後児童クラブ事業

【事務局より説明（資料4、資料5）】

【事務局より一部、訂正報告あり（資料4）】

【会長】

事務局から2つ、ご説明をいただいた。まず、1つ目の資料4「教育・保育事業（保育園等入園児童予定数）」について、ご意見・ご質問をいただきたい。

【会長】

定員を減らす所と増やす所があるようだが、各園の、年齢ごとの受け入れは、とりわけ低年齢児になるが、受け入れは可能だと理解してよろしいか。令和7年度、待機児童は出ないという理解でよろしいか。

【事務局】

はい。待機児童は0（ゼロ）である。

【委員】

緑幼稚園について、一番下に別枠で書かれているが、これが上のほうの幼保園などと一緒に組み込まれるということはないのか。緑幼稚園の立ち位置というのはどうなるのか。

【事務局】

幼稚園なので、別枠になる。

【会長】

教育・保育事業について、ご質問は、これ以上ないようである。それでは、2つ目の資料5「放課後児童クラブ」について、ご質問・ご意見をいただきたい。

【委員】

坂井の東十郷第一児童クラブと第二児童クラブについて、2・4・6年と1・3・5年に分かれているが、学年をそのように分けた意図を教えてください。

【事務局】

人数の調整もあるが、帰ってくる時間の関係もあり、分けさせていただいたところである。

【委員】

分割することについては初めて知った。これについては決定なのか。

【事務局】

はい。決定である。

【委員】

保護者の皆様も、ご存じなのか。

【事務局】

承諾書を発送させていただいており、保護者の方も、分かっていると思う。

【委員】

例えば、兄弟児で2年生と3年生がいる場合は、別々の所に行くということでよいか。迎えに行くのも2カ所に行かなければいけないということで。

【事務局】

はい。学年で動かれているので。

【委員】

今までも、そんな形だったのか。そこは、保護者の理解が得られているということか。

【事務局】

そのように認識しているところである。

【会長】

令和7年度は、この人数で、この施設で受け入れ収まっているという理解でよろしいか。

【事務局】

長期休暇の時には多くなるので、学校施設を貸していただくようお願いをした。学校も、すぐ協力的で理解をしていただき、了承を得ているところである。

【会長】

それは良いことだ。

【会長】

それでは、委員の皆様のご理解を得られたものとさせていただき、議題の3つ目はここまでとさせていただきます。

4. その他

(1) 今後の日程

【事務局より説明】

(2) 会議を振り返って

【会長】

本日の会議日程は以上である。最後に、本日の会議全体を通して、委員の皆様からお一人ずつ、ご感想をいただきたい。本年度の最後の会議ということで、一年間を振り返っていただいても、これからの期待ということでも結構である。順番にお願いをしたい。

【委員】

市民パブリックコメント意見・対応の「両親学級」や、計画（案）の進捗を計る主な指標の「産後ケア事業利用率」、「男性の育児休暇 取得率」について。

子育て支援センターでは、両親学級に来ていただいた、お父さんお母さんに、支援センターの見学を促していただいている。お父さんが、こどもを支援センターに連れてくるという方も少しずつ増えてきている。お父さんの育児休暇取得率が上がっていくことも、支援センターの役割が果たせるのかなと思う。産後ケア事業においても、保健師さんと連携を取りながら、支援センターのあり方というのを考えていきたい。

【委員】

「産後ケア」のところで、私どもの支援センターに来ているお母さんからも、今年度から利用券を配布しているという話を聞いている。とても良いとのこと。お母さんたちに寄り添った支援になったのではないかと思う。この新しい計画でも、こども向けに、こういう冊子があるということが、とても素敵だなと感じている。

【委員】

「子育て短期支援事業」の実績で、令和2年度の時点では255.6%の進捗率になっていたところ、令和5年度では53.3%ということで、かなり減少しているが、今後、より重要な事業になってくるのではないかと考えている。

そういった中で、質問を2つしたい。1つ目は、ショートステイ事業、里親への委託が可能になっているかと思うが、検討しているのかどうか。2つ目は、次年度から、福井市のほうで児童心理治療施設が北陸初でできる予定になっているかと思うが、そういった施設でショートステイの受け入れを検討されているのかどうか。

【事務局】

実績については、計画書（案）44ページに記載しているとおおり、子育て短期入所のほうが、施設の受け入れ、定員とかがあり、利用したいときにできなかったという現状であった。

1つ目のご質問で今後についてであるが、計画書（案）111ページの提供体制の方針というところで、「里親での一時預かりなど、利用者のニーズ、受け入れ体制、利用調整体制に課題があり、引き続き検討していく」とさせていただいたところである。

2つ目のご質問については、県から何も情報が入っていない状況のため、今はまだ、お答えできない。

【委員】

私自身、相談支援専門員として複雑なご家庭の支援をする中で、一番困るのが短期入所をどのようにしてつなぐかといったところ。今後、皆さんと一緒に検討していけたらと思う。

私が今回、すごく感銘を受けたのは、「こども向けの概要版」で、しっかりと準備を進められているということである。こういった、こども向けの概要版を、学校教育や地域で教材として使うことで、ヤングケアラーでないかといった気づきとかで、早めに対策を打てるきっかけにもなるのかなと感じている。

あと、「児童クラブ」についてだが、利用されているお子さんや、お母さんにも、利用満足度のアンケートを取って集計するとか、そういったところにもつなげていけると、よりサービスの充実につながっていくかなと思う。

最後に、「子育て講演会」について、お父さんお母さんの力をエンパワーメントしていくこういった機会がどんどん増えていくと、坂井市の子育ては充実していくのかなと思う。

【委員】

こうやって5回の会議を終えて、計画として1冊の物に仕上がったということで、早く4月にカラー版で見られるのが、とても楽しみである。

そして、327のたくさんの事業計画を考えてくださり、それが一つでも、前回より良い方向につながり、次のステップに行っていただくと良いと思う。また、保育に携わっている身としても、大事なお子さんをたくさん抱えているので、丁寧に育てて、坂井市が目指すまちの姿の基本理念に行けるように毎日努力していきたいと思う。

【委員】

パブリックコメントの中での「オーガニック給食」への取り組みをはじめ、「こどもの居場所づくり」のあり方についても、もっと深く対応していかなければいけないのかなと思う。

こども計画の、こども向けの概要版について、このような、分かりやすい手段として、形となるものがあると良いと思うので、学校教育の現場でも、推奨していけるように進めていきたいと思う。

【委員】

大きく感じたことが2つある。1つは、会議の資料について、委員だけではなくパブリックコメントにも非常に誠実に答えている点。学校の職場に戻ったら、教員たちにも一人ひとりの声や考えに、誠実に向かうことの大切さを伝えたい。

もう1つは、最近、受けた講演会の中でのことだが、困った時につなぐことができる社会資源というものを、確実に手元に置いておくという知恵をいただいた。困った時に、教育や医療、福祉の専門家などと、うまくつながっていけたらいいと思う。

【委員】

私はPTAの代表として参加させていただいており、子育て最中の身である。こども計画の、この概要版はすごく読みやすい。中学生のこどもにも軽い気持ちで見てもらえるのではないかな。近くの大人だけではなく、坂井市全体でみんなを育てようとしてくれているということを伝えられたら、すごくありがたいと思う。

それと、PTAでは毎年、保護者とこども向けの講演会を実施している。良いテーマがあったら、市からも情報をいただきたい。

【委員】

市民のパブリックコメントを読んで、私も「オーガニック給食」については関心がある。値段が張るので全部取り入れるわけにはいかないと思うが、産地や添加物のことを意識して食材選びをしていただけたらありがたい。

それと、「学童」の件であるが、これまで孫2人がお世話になっていたことを思うと、学童に通っているこどもの意見や親御さんの意見を聞いてあげて、それに沿うような学年の組み合わせなどをしていただけたらありがたいと思う。

最後に、2年間委員をさせていただいているが、子育て支援について意識や関心を高く持って過ごすことができた。前に「子育てするなら坂井市で」と言ったが、確かに坂井市は住みやすいし、子育てしやすい。この姿勢で、坂井市の子育て支援、こども支援をしていただけたらありがたいと思う。

【会長】

今回の計画の策定は、これまでとは少し違い、こども基本法の施行とか、こども大綱が出たというところが大きい要素になっている。これを踏まえた計画であるので、いかに、こどもから大人まで全ての市民の方に、計画策定の意味と中身をご理解いただくかということが、とても大事になってくる。とりわけ、こどもが権利の主体であるということを、大人がどこまで理解できるかというところが大きなポイントになってくるし、これからの政策を作っていく上で、こども・当事者の意見を聞くという、このプロセスをどういうふうに挟んでいくかということも、大事になってくると思っている。

そういう意味で、327の事業がうまく展開され、数値目標のところに反映されてくることを期待したいし、坂井市は子育てをするに良いまちだと、こどもたちにとっても、このまちが好きになり生活に満足をしている、こういうこどもたちの割合の増加につながっていくことを、心から強く期待し、念じたいと思う。

また、こういった事業があるということを、どのように市民の皆様にご理解をいただくかということで、情報の周知がとても大事であるし、会社や事業者のご理解をいただくということも大事なことである。これからの進捗を見ていきたいと思っている。

5. 副会長あいさつ

【副会長】

1年間かけて私たち、色々と中身、意見を言わせていただいた。それもほとんど取り入れていただいて、私たちの意見も取り入れた計画になってきたと思う。

今回すごいなと思ったのはパブリックコメントである。たくさんの意見が集まってきた。市民の皆さんも相当、意識を持ち、こういう計画に対して見ていただいているのだなと思っている。

それに応えるために、この計画を、どうやって本当に進捗させていくかというのを、委員としてこれからも見届けながら、事務局の皆さんと一緒に頑張っていきたいと思う。

6. 健康福祉部長あいさつ

【部長】

7. 閉会